

もちつきを体験する5年生



もちをまるめる5年生



# 笑顔広がる交流会

## 伝統行事のもちつき

## もち米づくりの集大成

尚徳小全校児童が、昨年12月6日に体育館でもちつき交流会を開催した。昔から伝統としてやってきたこのもちつき大会は、コロナ禍で一時できなくなったが、2年前から再開し、今でも伝統を受け継いでいる。

もちつき交流会のもち米は、地域の方々へ協力してもらいながら5年生が育てたもち米を使っている。田植えと稲刈りは、5年生が地域の方にこつを教わりながら楽しんで行った。

もちつき交流会の会場は、もちのかおりと児童、保護者、地域の方々の笑顔が広がる温かい空間だった。また、もちをつきねの音が体育館中に響き、楽しい雰囲気の中で行われた。5年生は、つきたてのおもちをボランティアの方々とお話ししながら一緒に食べた。もちを食べた児童は、「いつもと違ってもちもちしていた」「きねが

重くてたいへんだった」地域の方々からは「みんなの笑顔が見られてうれしかった」と語った。これからも、この伝統あるもちつき交流会を続けていこうという尚徳小みんなの気持ちがつまったもちつき交流会だった。(吉村陽香、安東利博、田子暢晃、浜岡純平)



# 尚徳小新聞

しやうとくしょうがくしんぶん

### 5年生が作った新聞です



規格外の柿を販売する児童



規格外の柿を試食する児童

昨年11月27日、5年生が総合的な学習の時間で学んだことを生かして、「尚徳環境フェスティバル2024」を企画した。このフェスティバルは、尚徳校区の販売、規格外の柿試食コーナー、バザーなど、たくさんを企画すること尚徳校

## 地域の魅力伝える 尚徳環境フェスティバル

食品ロス 水辺の楽校

皆さんのペースで作られた。さらに、食品ロスや「水辺の楽校」についてプレゼンテーションが行われた。試食コーナーでは、多くの児童が大きな口を開け、おいしそうに柿を食べていた。

た。尚徳校区でとれる柿のおいしさに気づいた児童は、「少し傷んでいても、カットしたらおいしく食べられることが分かった」と笑顔で語った。

互いに応援しながら山頂を目指す児童ら



## 仲間と共に 頂上目指す 大山登山に挑む

昨年9月27日、5年生が自然の大切さを学ぶために、頂上を目指して大山登山を行った。頂上までの道のりは簡単ではなかった。大きな石や小さな石がたさんあり、滑りそうになる人も多かった。登る途中では、児童が自ら応援団を結成し、クラスメイトだけでなく、他校の児童や下山している人にも声をかけ応援していた。頂上につくと「達成感がすごかった」「きれいだった」「登ったのがよかった」と児童が笑顔で語っていた。



息の合った動きをみせた 上学年の表現運動

## 夢は実現できる！力を合わせた運動会

昨年9月21日、尚徳小学校のグラウンドで秋季大運動会が開催された。全校児童が三色に分かれ、それぞれの団長を中心に競技や応援を精いっぱい頑張った。4、5、6年生は「Dreams ~It's show time~」というテーマのもと「夢は実現できる」ことを伝えるために表現運動を披露した。表現運動では、フラッグを使った息のあった動きが、会場を盛り上げた。ピラミッドや花の技では、一人では難しくてもみんなで力を合わせると夢は実現できると伝えることができた。5年生は、6年生が最

### 学校概要

【学校名】米子市立尚徳小学校  
 【所在地】米子市榎原1897番地  
 【校長名】足立彰子  
 【児童数】145人  
 【学校教育目標】  
 心・もの・言葉を「このえて」やこし  
 心・強い心・正しい心を育む尚徳小学校

### 沿革

1987年(昭和62年) 日新小学校より分離して尚徳小学校開校  
 2005年(平成17年) 日新小学校と統合する  
 2016年(平成28年) 尚徳小学校創立30周年(通算126年)  
 2021年(令和3年) コミュニティスクールになる(地域住民による学校支援ボランティアとの連携)  
 2023年(令和5年) 校庭の芝生化

## 尚徳が誇る自然



美しい「水辺の楽校」の風景

昨年6月29日、尚徳地区の法勝寺川と小松谷川の交わる地点に「水辺の楽校」が開校した。法勝寺川と小松谷川の水は、ミネラルウォーターのような美しく栄養豊富な水のため、珍しい魚も住んでいる。尚徳小学校の5年生は、この川に住む魚たちの絵を描いた。その絵は看板に貼られ、訪れた人に「水辺の楽校」の魅力伝える力となった。「水辺の楽校」には芝生があり、グラウンドゴルフを行うことができる。また、夏にはライフジャケットを着て、水辺で遊ぶこともできる。

今後の活用方法について尚徳公民館長に聞いてみると「子どもたちに、アイデアをもつて考えていきたい」と語った。また、「尚徳環境フェスティバル」の中で行われたフォトコンテストでは、水辺の楽校や法勝寺川・小松谷川が題材にもなった。

今後、水辺の楽校をどのように活用していくのか、私たちもしっかり考えていきたい。

## 英語劇に チヤリンジ

### 大成功の学習発表会



オリジナル英語劇を披露する5年生の児童

昨年11月9日、尚徳小学校の体育館で学習発表会が行われた。全校児童が劇や合唱、合奏など、学習の成果を披露した。なかでも5年生は、1年生の時に披露した「おととねすみろ」の劇をバージョンアップさせ、オリジナル英語劇を作った。さらに劇の中には、総合的な学習で学んだことも取り入れた。

劇の練習では、難しい英語を繰り返し発音したり、英語の先生に発音を聞いたりした。また、見ている人に笑顔を届けるため、試行錯誤しながら劇をつくり上げた。本番では、会場が盛り上がり、大成功の劇となった。さらに全校合唱では、すべての児童がステージに上がり、すてきなハーモニーを届けた。どの学年もそれぞれのよさが発揮され素晴らしい学習発表会になった。

(松原理子、黒田拓弥、山根夢斗)